

令和4年度前期日程入学試験問題

小論文C

教育学部

学校教育教員養成課程

言語・社会教育系 社会選修

注意事項

- ① 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ② 問題冊子は、3ページ(表紙、白紙を除く)です。試験開始後、確認してください。
- ③ 解答は、別紙の解答用紙に、指定字数に従って、横書きで記入しなさい。句読点は1字とし、ローマ字や数字は2文字以上の場合に1マス2文字とします。
- ④ 問1、問2は解答用紙(その1)を、問3は解答用紙(その2)を用いて答えなさい。
- ⑤ 受験番号は、2枚の解答用紙1枚ごとに指定の欄に記入しなさい。

問題 次の文章を読んで、後の問1から問3のすべてに答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(出典は、Hisayuki Ishimastu 他訳、Britt-Marie Lidesten 編『リンネの教え 知識へのインスピレーション』ウプサラ大学スウェーデン学校生物学・生物工学センター，2007年，22頁，<https://bioresurs.uu.se/wpcontent/uploads/2016/03/LinnelektionerJapLoMomslag.pdf>，一部改変したところがある。)

注

- (1) カール・フォン・リンネ：スウェーデン人の植物学者，博物学者(1707-1778)。

問 1 問題の文章をもとに、18 世紀のスウェーデンにおける農業や貿易等をめぐる課題はどのようなものか、また現代におけるそれはどのようなものか、150 字以内でまとめなさい。

問 2 下の図は、日本における牛肉の国内生産量と輸入量および自給率の推移を表している。問題の下線の文章と下の図をふまえ、日本における牛肉の需給について 250 字以内で説明しなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(出典：畜産産業振興機構「畜産の情報」2019 年 10 月号，21 頁)

問 3 問題の文章をふまえ、日本の食料需給の在り方について、持続可能性の観点から、400 字以内で述べなさい。